



梶谷 康介議員

明日に光が見える予算編成を期待する！

(町民のニーズに如何に応えるか！)

町 長

限られた財源を有効的に活用していく！

梶谷 国政が動いた。先行き不透明、不安定極まりない状況だ。意欲をもって臨んだ松前町の舵取りも、取り巻く環境波高く暗礁に乗り上げない為にも慎重な運営が要求される。石山町政初めての完全予算編成（平成25年度）にあたり、基本的な考え方、問題、課題への認識、取り組みについて見解を質す！

①財源確保の基本的な考え方（自主財源の現状、依存財源の見通し等）

②経常経費と政策予算（経常収支悪化の下での振興発展への取り組み方）

③平成25年度の重点施策は何か？

④抱えている大事業への取り組み

イ 松前中学校

ロ 町立松前病院

ハ 松前町の修復、復元

⑤まちづくり総合計画と整合性ある財源見通しを含めた年次計画を策定すべきと思うが？

町長

①自主財源の根幹は税収でありますが減ってきている現状です。要因は長引く不況下によるものであ

り、所得の確保が大事なところなので、基幹産業に期待していますが結果が伴っていないのが現状です。

依存財源について、交付税が減額される要素は多分にありますので、国の予算特に地方財政計画の動向を見極めながら慎重な財政運営が必要になると思います。②経常収支比率が高くなると財政の硬直化に繋がります。重点事業などの予算編成は大変厳しくなります。

総体的にバランスの取れたメリハリのある政策予算の編成を心掛けます。総合計画後期5ヶ年の実施計画の見直しを現在しています。③限られた財源を効果的に活用して、25年度の懸案事業を決定し実施していきたいと考えています。

厳しい財政運営を避けて通れない現状ですので、皆さんの知恵をお借りしながら、町民に喜ばれる予算編成をしていきたいと思っています。

③重点事業の関係ですが、まだ決定していません。後期5ヶ年分の頭出しをしています。相応なポリシームであり町政の責任者として

やりたい事がたくさんありますので財政状況を見極めながら慎重に対応していく考えです。

④松前中学校の改築について、半世紀に一度の大型建設事業だと考えています。平成27年4月の開校に向けて、基本設計あるいは実施設計等について事務作業を進めています。願いとして、松前杉をふんだんに利用していただき、子供達により良い教育環境と質の高い学習環境を、提供していきたいと思っています。

町立病院の改築について、松前中学校改築の事業費がまだ見えていませんので、軽々に質問に答えられませんが、基本的に病院の改築については老朽化の現状をみると必要であると認識しています。改築の時期を言うことはまだ早いがしています。今後は、財政状況を踏まえて課題、問題を関係各課、一般会計部門、町長部局を含めまして、渡島総合振興局などの協議が必要であり、その中で進めていく考えです。

松前城の関係ですが、松前町の史跡福山城保存整備

審議会でいろいろ耐震補強が木造復元かの二通りの選択肢を持ちまして審議をしています。今後、審議会の結論を見据えて耐震補強か木造復元か判断をしていかなければと思っていますが、審議会の経緯をみながら、国の文化庁の考え方を聞きながら方向付けをしていきたいと思っています。

るので、一層の慎重な財政運営が必要となります。今後5ヶ年の財政健全化を維持していくため、財政推計を策定しまして総合計画と財政計画をリンクさせながら、将来の見込みを的確に把握し、財政状況を見極めるための財政指標も設定して分かりやすい財政運営をしていきたいと思っています。

⑤まちづくり総合計画と整合性について、基本的には町民憲章に掲げる5項目を基本構想と致しまして21項目からの基本計画により、実施計画を立てているところ。平成24年度で前期5ヶ年が終わり、後期の計画について大型事業も多く、多額の借入れも予想され



改築に向け 平成25年度に一部取り壊しになる松前中学校